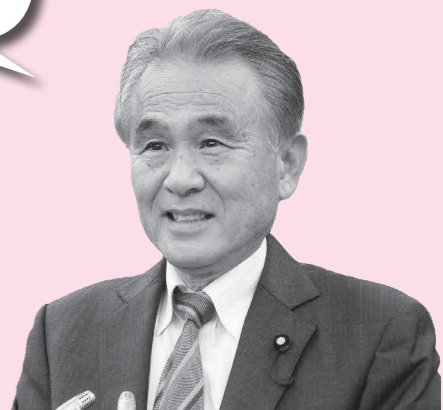


省エネ設備導入による成果は

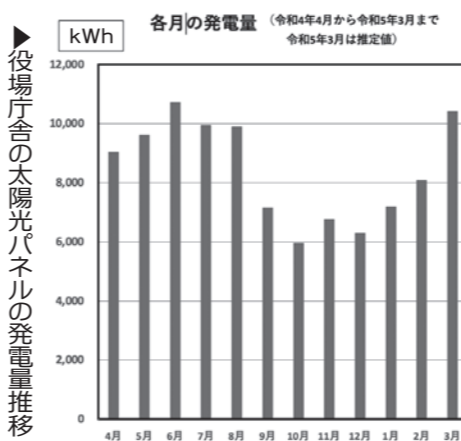


つきだ ひろし
月田 均



町長

電力使用量が約58%削減できた



質問 環境省の事業を活用し、昨年2月から役場庁舎に太陽光発電設備と蓄電池設備を設置し、庁舎内には高効率LED照明と高効率空調設備を導入した。これらの設備導入によって、庁舎内のエネルギー消費量はどのように変化したか。また、結果をどのように評価するか。

答弁 町長 運用開始後の令和4年4月から令和5年1月までの電力使用量は、1時間当たり17万7861キロワットとなり、導入前と比較し、約58%の削減ができた。ほぼ計画通りの推移で、評価できる結果である。

質問 果と考えている。

質問 脱炭素社会への町の取組は。

答弁 環境安全課長 太陽光発電等の再生可能エネルギーの利用の促進に取り組んでいきたい。また、町有施設への太陽光パネルの設置や公用車への電気自動車の導入なども考えていきたい。

再生可能エネルギーシステムの設置について

質問 今年度の実績はどのようになっているか。また、過去の実績は。

答弁 町長 今年度2月10日までの補助実績は、太陽光発電設備31件、蓄電池設備31件となっている。また、令和3年度までの13年間における太陽光発電設備の総設置件数は1039件、総発電出力量は4787キロワット、年間の総発電量は約478万7000キロワットアワーと想定できる。

防犯への取組について

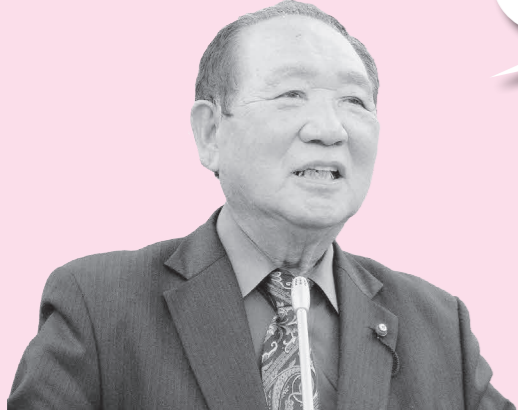
質問 全国各地で強盗事件が発生し、町内でも不安を感じる人も多い。町の防犯への取組は。

答弁 町長 防犯カメラや防犯灯設置のほか、特殊詐欺対策として、自動通話録音機能のある機器の購入補助など、犯罪を未然に防ぐ取組を続けている。そして、防犯意識高揚のため、広報、ホームページへの掲載やチラシの配布等も行っている。今後、これらの取組を一層強化しながら、地域の力や警察等と連携して、防犯対策を進めていきたい。

こんな質問もしています

- 令和5年度施政方針について
- 町道103号線道路改良事業の進捗状況について

特殊詐欺に巻き込まれた人数は



かさほらのりのあき
笠原 則孝



町長

これまでに計3件の被害があった

質問 特殊詐欺に巻き込まれた人は、町内にどのくらいいるか。

答弁 町長 オレオレ詐欺が2件、還付金詐欺で1件の被害があった。また、町民から現場職員を名乗る不審電話があったとの相談が役場に寄せられたため、計3回「メルたま」による注意喚起を行った。このことから被害に至らなかったケースも相当数あったと思われる。

質問 玉村町の防犯対策は。

答弁 町長 特殊詐欺対策として、自動通話録音機能の

質問 町民の安心・安全を守る防犯カメラ



町民の安心・安全を守る防犯カメラ

ある機器購入に対して、補助率2分の1、上限6000円の補助を行っている。また、町民の防犯意識を向上させるため、広報ホームページへの掲載や産業祭でチラシの配布を行うなど、防犯に関する啓発活動を警察等と連携しながら積極的にを行っている。

質問 町内の防犯カメラの設置数は。

答弁 町長 町が設置管理している街頭防犯カメラは、42基である。

質問 警察との連携はどのようになっているか。

答弁 町長 捜査関係事項照会に基づく街頭防犯カメラの映像の提供、伊勢崎警察への特殊詐欺に関する予兆電話の情報提供、警察からの広報掲載依頼等の対応などを行い、連携を図っている。併せて町民からの要望や相談、過去の発生履歴を踏まえ、重点的なパトロール依頼を行い、犯罪の防止・抑止に努めている。

災害対策について

質問 玉村町の災害対策は。

答弁 町長 町では、台風第19号での教訓を踏まえ、避難指示の発令に関するタイムラインの見直しを行うとともに、「避難所開設・運営マニュアル」を作成し、迅速な災害対応に努めている。また、町民が安全な避難行動をとる際の情報提供のため、五料・上福島地内に河川監視カメラを設置するとともに、周辺の町民が緊急時に使用するための土のうを格納する倉庫を設置した。さらに、電話による自動音声メッセージで災害時の避難情報等をお知らせする「災害情報一斉伝達・収集システム(たまボイス)」を整備するなどした。

こんな質問もしています

- 人口減少対策について